

自己実現への道

第 103 回 ― 第 8 章 「信念さえあれば必ず道は開ける」(その 7)

★ 自信をもって「ノー」と言える人間になる

「勇気をもって “ノー” と言いなさい」「ノー」というには勇気が必要であり、勇気を身につけるためには信念が必要である。心の奥で確信したことを、自信を持って表明する強い勇気が十分に備わったときはじめて、私たちは、自分たちが住む社会の道徳や正義のために良い影響を与える人間になることができる。

「悪が世にはびこるために必要な条件は、善良な人々が手をこまねいて、何もしないようにすればよい、これに尽きる」という識者の言葉がある。社会悪を世にのさばらせた原因は、善良な人が、自分の信ずることを表明し、自分たちの行く手に立ちふさがる悪に抗議する勇気に欠けていたことにある。

この世の強力な諸悪には、すべての人々が、毅然として思うところを述べる勇気をもって対抗することが望まれる。

十分な鍛錬を積み、世の権勢欲に駆られている集団に、怖がってなびくような者には組みしな、勇気ある人間に私たちはなれる。聖書の中に「あなたがたは、地の塩である。しかし、塩がその塩気をなくしたら、何の役にも立たなくなる」というキリストの言葉がある。

人類を破滅に導くような不正には勇気をもってはっきり反対しよう。人類を守るためにそれはぜひ必要だ。

例えば、戦後の日本は GHQ の指示で、事実が隠蔽され、閉ざされた言語空間が続いてきた。日本は世界を支配する勢力と戦って負けた。彼らにとって当時の日本は脅威であり、日本を完全に滅ぼすために米国を参戦させて広島や長崎に原子爆弾を落とし、東京や大阪などの大都市をすべて焼け野原にした。そして、二度と立ち上がることがないように、米国の管理下に置き、二度と独立できないよう、また生き残った国民には一切真実を知らせず、徹底的に嘘で洗脳し続け、正力松太郎は CIA の工作員として、日本人が米国を尊敬し崇拝するよう仕向け、中国や韓国には「日本が侵略や虐殺を行った」という嘘で反日感情を植付けた。世界勢力は、国連や WHO 等の世界機関の他、多くの多国籍企業、軍需企業を所有しており、米国 CIA 等のテロリスト集団を使って、度重なる不要な戦争工作や生物兵器（ワクチン）を使用、多くの人民の命と引き換えに多大なる利益を得てきた。そんな悪事は許してはならない。日本国政府は今なお彼らの言いなりであるが、これらの矛盾を正すため、国内各党から勇敢な議員達が国会を動かしつつある。米国では遂にロバート・ケネディ Jr という英雄が誕生した。世界各国でも、多くの同志が誕生し、ケネディの活動に続こうとしている。今まさに、人類の存続と世界平和のための戦いが始まろうとしている。・・・しかしこのことは、日本のテレビも新聞も一切報道することはない・・・日本国民はこのままでいいのか？ 少なくとも、一人でも多くの人が、真実を知る必要がある。

<MIKO>

📖 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より